

第101回全国高校野球選手権大会 6日開幕



阪神甲子園球場を背景に光星ナインの
コラージュ。左から原瑞都、大江拓輝、
武岡龍世、近藤遼一、横山海夏凜の各
選手

開幕戦で誉（愛知）と対戦

- 14 15 ナイン紹介
- 16 戦力分析

◆ 第101回全国高校野球選手権大会が、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。地方大会を勝ち抜いた各校が、日本を自国として激戦を繰り広げる。

予選代表の八光星は、大会第1日の第1試合の中日戦で開幕投手として、愛知代表と対戦する。（林泰輔）

「ベンチに入らなかつた仲間。野球をできなくなった仲間のために、戦い抜く。全員が強い意志を持って青森大匠に挑み、青森県代表の頂点に立った。」

「もちろん、これがチームではない。今度防大の球児の思いを背負い、聖地に挑む。二戦必勝」を誓い、春の言葉へ。静かな調子を胸に、東北勢の進軍に挑む。

令和初の甲子園、高校野球の新たな歴史を刻む101回目の大会は、青森県代表として八光星ナインが臨む。

2018年、10年春に続いた優勝でつかんだ聖地への切符が、たどり着くまで悔しい思いの連続だった。センバツでの優勝は、春夏無大会での初敗退。絶対に出るはず。その思い一つで、バットを振り、白球を思い切り投球を磨いてきた。

「ベンチに入らなかつた仲間。野球をできなくなった仲間のために、戦い抜く。全員が強い意志を持って青森大匠に挑み、青森県代表の頂点に立った。」

「もちろん、これがチームではない。今度防大の球児の思いを背負い、聖地に挑む。二戦必勝」を誓い、春の言葉へ。静かな調子を胸に、東北勢の進軍に挑む。